

リニア中央新幹線に対する 三重県の意見

(中央新幹線小委員会ヒアリング資料)

平成22年7月2日(金)

三 重 県

三重県の地勢

日本列島のほぼ中央、中部圏・近畿圏の結節点に位置し、生活や文化、経済など様々な面で双方との関わり








- 東西約80km、南北約170kmの南北に細長い県土
- 総面積5,777.22km²（全国25番目）
- 人口約186万人
- 増加を続けていた人口は、現在減少への分岐点を迎えている
- 約25年後には、現在より約25万人減少見込み

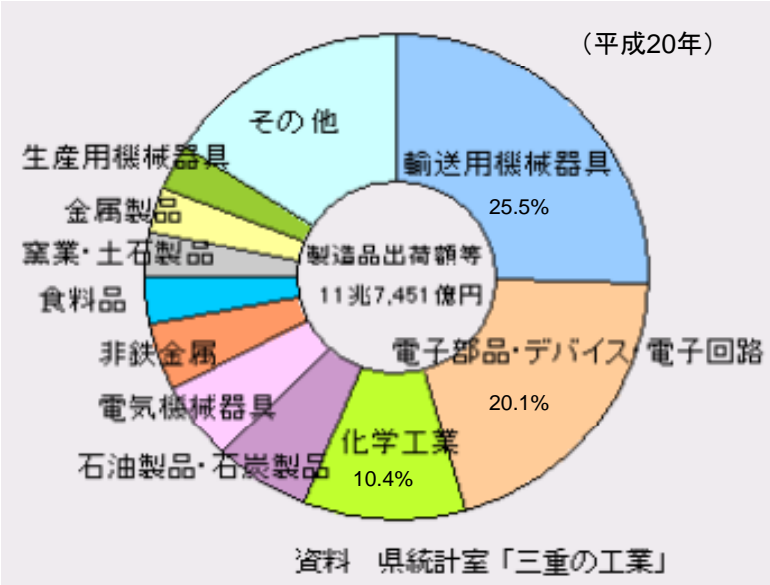
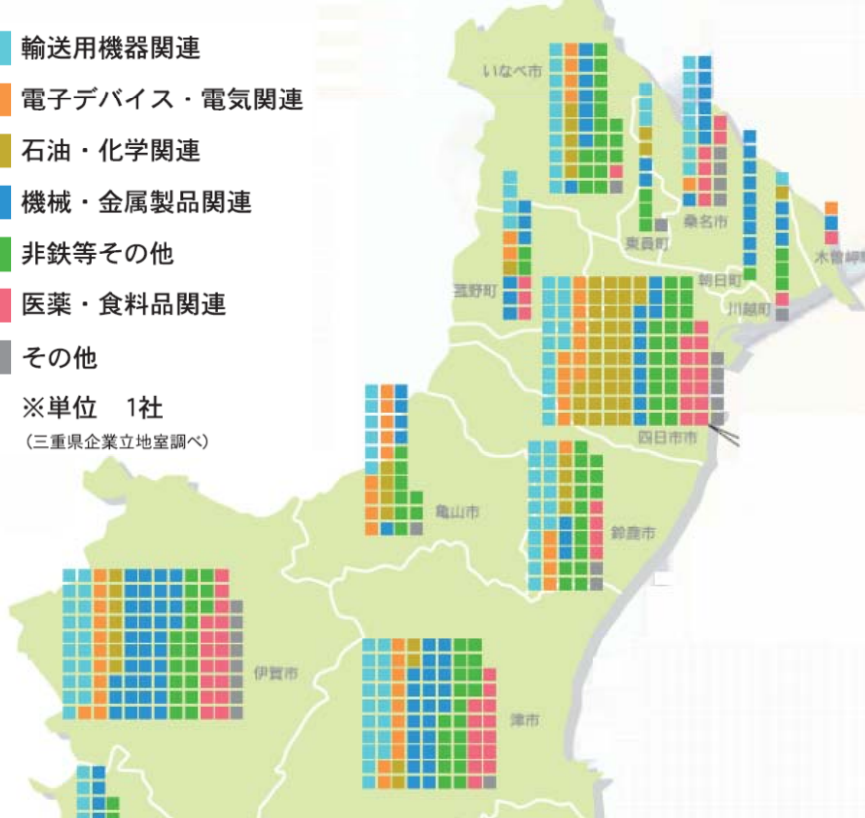


三重県の産業

先端的産業分野の製造施設や研究開発施設の誘致など、国際競争力の源泉となる産業の集積をはかり、知識集約型産業構造へ

リーディング産業の集積(業種別市町分布図)

-  輸送用機器関連
 -  電子デバイス・電気関連
 -  石油・化学関連
 -  機械・金属製品関連
 -  非鉄等その他
 -  医薬・食料品関連
 -  その他
- ※単位 1社
(三重県企業立地室調べ)



- 国内有数の石油化学コンビナートを有し、半導体、液晶、自動車関連産業などが集積
- 製造品出荷額等は全国9位(平成20年)
- 平成21年の工場用地取得(1,000m²以上)
 - ・件数 33件 (全国7位)
 - ・面積 84ha (全国1位)

三重県の観光



平成21年観光レクリエーション入込客数推計

H17 31,486千人 → H21 33,698千人

伊賀地域 3,374千人(実数)

(主な観光地点、延数)

・伊賀上野城	106千人
・伊賀流忍者博物館	203千人
・モクモク手づくりファーム	393千人
・赤目四十八滝	177千人

北勢地域 13,511千人(実数)

(主な観光地点、延数)

・ナガシマリゾート	5,825千人
・鈴鹿サーキット	1,980千人
・関宿(道の駅「関宿」)	75千人
・湯の山温泉	1,135千人

中南勢地域 5,901千人(実数)

(主な観光地点、延数)

・榑原温泉	286千人
・松阪公園(御城番屋敷等)	70千人
・松阪農業公園ベルファーム	628千人
・五桂池ふるさと村	322千人

伊勢志摩地域 9,278千人(実数)

(主な観光地点、延数)

・伊勢神宮(内宮・外宮)	7,986千人
・鳥羽水族館	936千人
・ミキモト真珠島	206千人
・志摩スペイン村	1,576千人

東紀州地域 1,634千人(実数)

(主な観光地点、延数)

・熊野古道伊勢路	201千人
・県立熊野古道センター	109千人
・鬼ヶ城	287千人
・道の駅「紀伊長島マンボウ」	1,023千人

※数値は、全国観光統計基準に基づき、年間で5万人以上又は特定の月で5千人以上の入込のある観光地点の年間入込客数を集計したもの
※三重県では、平成17年より同基準を採用

三重県の交通網

- JR、近畿日本鉄道等の鉄道網
- 新名神自動車道、東名阪自動車道、伊勢自動車道、名阪国道など高速道路、幹線国道が充実

リニア中央新幹線の停車駅設置と交通網の連携により、大幅なアクセス時間の短縮

例 東京から三重県を代表する観光地の伊勢市まで

3時間30分程度

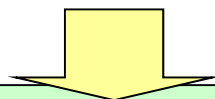
↓

1時間40分程度



三重県の意見 1

- 新たな国土の大動脈
- 大交流都市圏の誕生による経済の発展
- 東海道新幹線のリダンダンシーの確保
- 国家的なプロジェクトとしての実現は、高速鉄道や製造業などの国際競争力の向上に寄与



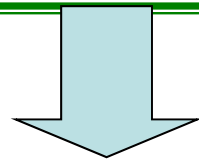
リニア中央新幹線計画に賛成、早期実現を！

- 大阪までの全線整備の時期の前倒し
- 整備計画の早期決定

三重県の意見2

三重県への駅設置に伴う費用負担

- リニア中央新幹線は、国家的なプロジェクトである
- ターミナル駅の所在する都府県は、全額JR東海の負担で建設され、公平性を欠く
- 駅の設置費用は、本来は事業主体が負担すべき

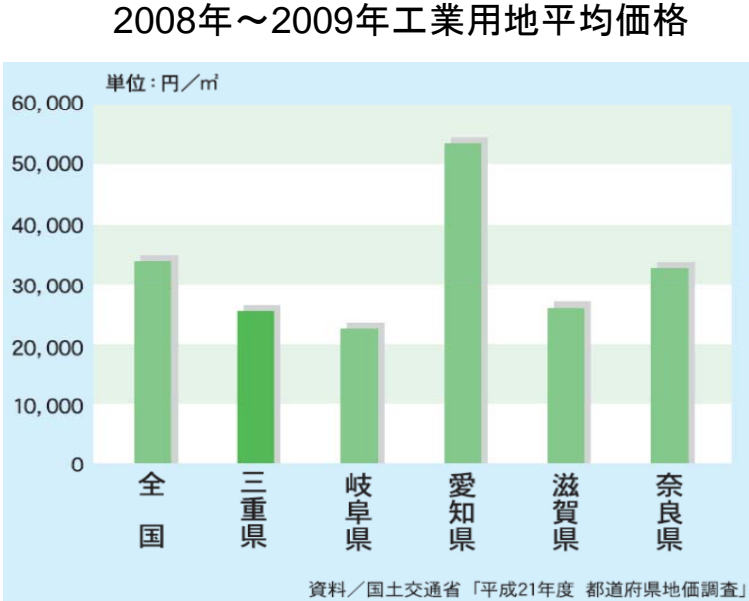


沿線地域の住民が納得できるよう、地元負担によらない駅の設置について、JR東海と国が協議を

三重県の意見3

リニア中央新幹線の目的 全国新幹線鉄道整備法では
「国民経済の発展及び国民生活領域の拡大並びに地域の振興に資する」

- 首都圏との移動時間が大幅に短縮
- 中部圏と近畿圏の結節点として果たす役割の重要性が高まる
- 地価が安いことによる企業の進出
- 交流の拡大による観光客の増加



経済の活性化

- 協議や決定のスケジュールの明示
- 十分な協議の機会の確保

ルート、駅位置、ダイヤや在来線などの交通網との連携が重要な要素

三重県の取組



リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会

- 昭和53年設立
- 会員 15団体 賛助会員 147団体
- 早期実現と県内停車駅の設置を要望
- 広報啓発活動



今後の取り組み

- 経済効果などを調査し、効果的なまちづくりを検討
- 在来線など、他の交通網の効果的な活用に向けた取り組み